

2026 年 9 月 15 日

## 「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、踏切事故を防止するため、令和8年秋の全国交通安全運動の実施にあわせ、9月21日から「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。キャンペーン期間中は、踏切や駅コンコースで「踏切手前では早めのブレーキで確実な一旦停止」や「万が一踏切内に閉じこめられた場合そのまま車を進めてまず脱出する」などを駅及び列車内の車内放送等により呼びかけます。



踏切道での啓発



駅改札での啓発



デジタルサイネージで啓発

### 《踏切キャンペーンの様子》

#### ■実施期間

2026 年 9 月 21 日(月)から 9 月 30 日(水)までの 10 日間

#### ■実施内容

- ・ 駅構内でのデジタルサイネージ等による踏切事故防止の呼びかけ
- ・ 踏切等でのポケットティッシュやリーフレットを配布して呼びかけ
- ・ 列車内での車内放送や特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・ ラジオ放送による踏切キャンペーンの告知とラジオCMによる踏切事故防止の呼びかけ
- ・ 関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問して呼びかけ

#### ＜今年度の踏切事故＞

JR北海道では、今年度、踏切障害事故が3件発生し、このうち2件は警報機や遮断機が設置されていない踏切で発生しています。また、踏切事故には至らなかったものの、警報開始後の無理な横断や踏切内での立ち往生、非常ボタンの操作などにより列車が緊急停止した事象は、8月末時点で177件に上っています。

これらは、一歩間違えれば重大な踏切事故につながりかねない危険な事象です。踏切通行時には、交通ルールを遵守し、踏切手前での確実な一旦停止と安全確認を徹底してください。特に、警報機や遮断機のない踏切では、列車の接近に十分注意して通行していただくようお願いします。